

号 次 告

精神医学 第 **57** 巻 第 **8** 号

〔巻頭言〕	岡山市民病院 天野 直二
〔オピニオン〕	DSM-5：私はこう思う
	DSM-5 の背景と作成過程
	……………一般社団法人認知行動療法研修開発センター/認知行動療法センター 大野 裕
	精神病理学の立場から……………自治医科大学名誉教授/小山富士見台病院 加藤 敏
	DSM-5 にしがみつかない生き方—臨床家の輪に加わりたい大学人のために
	……………獨協医科大学越谷病院こころの診療科 井原 裕
	臨床家は DSM-5 にどう向き合うべきか
	……………東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科/森田療法センター 中村 敬
	DSM-5 の批判的検討—精神分析的臨床家の立ち位置から眺望する
	……………京都大学大学院教育学研究科 松木 邦裕
	児童精神医学の立場から……………北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座 齊藤 卓弥
	DSM-5 は、なぜ気分障害を解体したのか—うつ病診断の妥当性と
	有用性をめぐって……………九州大学大学院人間環境学研究院 黒木 俊秀
	「統合失調性の」または「統合失調様の」異質性について
	……………杏林大学医学部精神神経科学教室 田中伸一郎
	DSM-5 と症例の定式化……………慶應義塾大学医学部クリニカルリサーチセンター 中川 敦夫
〔展 望〕	トラウマという視点からみた職場起因性ストレスと労災補償の現状
	……………西九州大学リハビリテーション学専攻 太田 保之・他
〔研究と報告〕	抑うつ患者に対する行動活性化療法の集団プログラム「クレアクティブ」
	開発の試み……………呉医療センター・中国がんセンター 田辺紗矢佳・他
	レストレス・レッグス症候群の日中の抑うつ、不安・焦燥、無気力に関する検討
	……………島根大学精神医学講座 河野 公範・他
〔短 報〕	大脳皮質形成異常(異所性灰白質、多小脳回)を伴ったバセドウ精神病の 1 例
	……………帝京大学精神神経科学講座 押久 保岳・他
〔資 料〕	事業所内リワークの試みと今後の課題
	……………東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 鈴木 淳平
〔私のカルテから〕	Ceftriaxone 関連胆泥を認めた認知症の 2 例……………ふらて会西野病院 中山 寛人
〔精神科の戦後史〕	精神保健法と精神保健福祉法の制定の背景と趣旨について
	—特に精神衛生法から精神保健法に、精神保健法から精神保健福祉法への
	変化の背景を中心に……………公益財団法人精神・神経科学振興財団 高橋 清久
	(編集頁の都合により掲載論文が若干変更になることがあります。編集室)